



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本ルツボ株式会社

コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大久保 正志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 坂本 信治

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,973	3.1	99	23.2	94	24.7	83	83.4
24年3月期第1四半期	1,913	0.6	80	△22.9	75	△22.2	45	11.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 60百万円 (21.9%) 24年3月期第1四半期 49百万円 (144.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.11	—
24年3月期第1四半期	3.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	8,936	2,951	32.8	216.69
24年3月期	8,830	2,919	32.8	214.41

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,930百万円 24年3月期 2,899百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,900	0.1	200	11.7	190	13.1	110	15.8	8.14
通期	8,000	3.6	420	21.0	400	13.3	220	25.0	16.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページの「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	14,090,400 株	24年3月期	14,090,400 株
25年3月期1Q	570,148 株	24年3月期	570,148 株
25年3月期1Q	13,520,252 株	24年3月期1Q	13,520,399 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第一四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金効果による需要の増加などで、景気は緩やかながら回復してまいりました。一方で、欧州債務問題や中国経済の減速感による世界経済への影響、長期化する円高、電力の供給不安など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車産業は円高の影響はありましたが、エコカー補助金の効果や震災の反動も重なり、生産活動は順調に回復してまいりました。鉄鋼産業は国内での自動車産業の需要は増加いたしました。円高や中国企業の増産による鋼材市況の軟化など厳しい環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり積極的な販売活動を展開するとともに、経費の見直しと生産の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当第一四半期連結累計期間の売上高は19億7千3百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益は9千9百万円（前年同四半期比23.2%増）、経常利益は9千4百万円（前年同四半期比24.7%増）、四半期純利益は8千3百万円（前年同四半期比83.4%増）となりました。

## ①事業の分野別業績

鑄造業界向けでは、自動車をはじめとする輸送機械関連企業が回復基調に転じ、売上高は10億9千1百万円（売上高比率55.3%）と前年同四半期比0.9%増加いたしました。

鉄鋼業界向けでは、鉄鋼生産量は落ち込んでいるものの、鑄鋼品等の増加を受け、売上高は3億5千1百万円（売上高比率17.8%）と前年同四半期比9.7%増加いたしました。

溶解炉・環境関連向けでは、工事案件の受注や炉修等により、売上高は3億3千8百万円（売上高比率17.1%）と前年同四半期比9.7%増加いたしました。

海外市場向けでは、中国・東南アジア向け需要は円高の影響もあり、売上高は1億3千8百万円（売上高比率7.0%）と前年同四半期比4.8%減少いたしました。

不動産賃貸事業では、売上高は5千5百万円（売上高比率2.8%）と前年同四半期比6.8%減少いたしました。

## ②セグメントの業績

セグメント別の売上高は、耐火物等事業が15億7千4百万円（売上高比率79.5%）と前年同四半期比2.6%増加し、営業利益は1億5千5百万円となりました。溶解炉・環境関連向けのエンジニアリング事業は3億5千1百万円（売上高比率17.7%）と前年同四半期比9.7%増加し、営業利益は1千7百万円となりました。不動産賃貸事業は5千5百万円（売上高比率2.8%）と前年同四半期比6.8%減少し、営業利益は3千3百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第一四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比7千6百万円（1.3%）増加し、60億9千9百万円となりました。主なものは、現金及び預金の増加によるものです。

当第一四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比2千9百万円（1.0%）増加し、28億3千7百万円となりました。

これにより、当第一四半期連結会計期間末の総資産は、全体で前連結会計年度末比1億6百万円（1.2%）増加し、89億3千6百万円となりました。

当第一四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億7千2百万円（4.1%）増加し、44億1百万円となりました。

当第一四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比9千8百万円（5.8%）減少し、15億8千4百万円となりました。主なものは、長期借入金の減少によるものです。

当第一四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比3千2百万円（1.1%）増加し、29億5千1百万円となりました。

この結果、当第一四半期連結会計期間末の自己資本比率は32.8%（前連結会計年度末は32.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示する予定です。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。  
これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。